

Rotary

国際ロータリー
第2670地区美馬
ロータリー
クラブ 週報美馬
ロータリークラブ
ウェブサイト<http://www.mimarotaryclub.com>

2021-2022 年度 第35回 例会プログラム

- 例会場 サンコーカルチャーセンター
- 開会点鐘 19時
- 四つのテスト/我らの生業
- 会長の時間/幹事報告/委員会報告/卓話

出席報告

会員数	出席者数	うちリモート出席	うちメール出席	出席率
25	19	(1)	(1)	76%

会長の時間

廣澤誠治 (Seiji Hiroswa)



「命がけとは」 山本一カ (作家) より

広島県呉市の「大和ミュージアム」を見学した。全国に数あるミュージアムのなかでも、リピーターの多さでは群を抜いているようだ。

戦艦を礼賛する気はない。しかし、巨大戦艦建造技術力の秀逸さに接して感銘を受け、日本人であることに晴れがましさも覚えた。そう言いつつも、わたしが思わず足を止めて見入ったのは大和関連ではない。明治四十三年四月十五日に生じた、第6号潜水艦沈没を説明した一角だった。ミュージアムでこの展示に接するまで、わたしはまったくこの事故を知らなかった。事故の概要は以下の通りだ。

海軍六号潜水艇は佐久間勉艇長指揮のもと、十四名の乗組員で潜水訓練を行っていた。ところが、空気取入口（シュノーケル）部分を動作させるチェーンが外れてしまい、浸水、潜水艇は十七メートルの海底へと沈んだ。六号潜水艇の引き上げができたのは五十時間後。艇長を含む全員組員が殉職した。

刻々と空気が失せていく艇内で、佐久間艇長は手帳に遺言をしたためていた。

「小官ノ不注意ニヨリ陛下ノ艇ヲ沈メ部下ヲ殺ス誠ニ申訳無シ」

艇長の遺言は謝罪から始まっていた。続く記述に、私は息が詰まりそうになった。

「サレド艇員一同死ニ至ルマデヨクソノ戦イヲ守リ沈着ニ事ヲ処セリ」

佐久間艇長は部下を称えていた。遺書は明治天皇に宛てて書かれていた。いかに海軍大尉とはいえ、天皇に遺言をしたためるなど不敬のそしりを免れまい。それを承知で書いたのは、部下の遺族の行く末を案じたがゆえだ。

「我部下ノ遺族ヲシテ窮スルモノ無シカラシメ給ワラン事ヲ」

まさに一名を賭しての願いを、佐久間艇長は明治天皇に奏上していた。



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

次回
6月14日
の例会

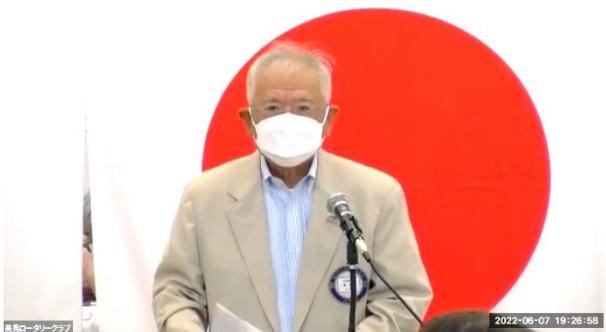
- ★ 19時～ サンコーカルチャー
- ★ 会長の時間/幹事・委員会報告
- ★ 家庭集会の討議内容発表

六号潜水艇の事故の直前、外国でも同じ構造の潜水艇が同様の沈没事故を起こしていた。引き上げられた潜水艇の脱出ハッチ下には乗組員が折り重なって倒れていた。逃げ出すこと叶わず、絶命したのだ。六号潜水艇の乗組員たちは、全員が持ち場についてままで息絶えていた。艇長の遺書に記されていた「艇員一同死二至ルマデヨクソノ職ヲ守リ沈着二事ヲ処セリ」は事実だったのだ。

諸外国の海軍からは、いまもって佐久間艇長および十四名の乗組員は深く尊敬されているという。

大和ミュージアムを訪れるまで、わたしはただの一行も、この事故を知らなかった。まことに遅きに失したが、それでも六十二になって知るを得た。職務遂行に一名を賭す。断じて軽々しく言うなかれと、呉市のミュージアムで戒められた。

幹事報告 森廣一 幹事



- ✓ 到着週報は鴨島、阿波池田 RC、脇町 RC です。
- ✓ 支払い調書 2 件出金します（5 月分食事代、地区協議会の来期活動方針の冊子 25 名分）
- ✓ レターボックスをご確認ください。
- ✓ ライラセミナーが開催されましたが、参加者にコロナ感染者が出たため 5 月 26 日、27 日で打ち切りとなりました。

委員会報告

廣川公利親睦委員長より



- ✓ 家庭集会の参加ありがとうございました。
- ✓ 6 月の記念日の披露を致します。
本人誕生日：田村光男会員
配偶者誕生日：東谷尚登会員

卓話 辻貴博 会員



今日は SDGS への取り組みについてお話ししたいと思います。国連で SDGS を決議して国でも取り組んでおり、徐々に企業や学校等に浸透しています。具体的には、持続可能な開発・発展の目標を 17 項目掲げています。

当社の SDGS の取り組みをご紹介します。当社は徳島県が主体となっている「徳島協働の森づくり事業」に参画しています。この事業は前掲の 6、13、14、15 番目の項目につながっていきます。私共は平成 22 年からこの事業に取り組んでいます。最初



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



美馬ロータリー
クラブ週報

につるぎ町貞光で松の間伐を行いました。別紙の事例紹介をご覧ください。

私共と徳島県知事と関連団体の3者でパートナーシップ協定書を交わしています。活動をする、「森林 CO2 吸収量証明書」が発行されます。最初の1回目と2回目の活動の後、当社敷地と事業地に【徳島協働の森づくり事業】と書かれた看板を別紙写真のとおり建てて頂きました。活動をする別紙「525【貞光食糧工業株式会社】」のように事業について協定森林の整備状況等を報告頂くようになっています。毎年グランビリオホテルで知事を交えて協定の調印式が行われ、毎年参加しています。

当社はこの地に会社を構え、この地の従業員、生産農家に変えてお世話になっていると考えています。少しでも恩返しをしたいという気持ちと、また昨今森林が非常に荒れていまして、その回復の一助になればという思いからこの活動に取り組んでいます。
(スピーチより抜粋)



スマイルボックス

辻貴博会員

テレビで当社が紹介されよい宣伝が出来ました。唐揚げ販売のテコ入れとして、澤田さんをお願いしてキッチンカーを絶賛整備中です。90軒の生産農家と契約を済ませることが出来ました

メーカー（1名）

森廣一幹事 5月26日

Zoom 出席者（1名）

東谷尚登会員

欠席者（7名）

伊庭雅俊会員、重田勝博会員、田村光男会員
戸島健治会員、林秀樹会員、三好亘会員、山内浩司会員

例会は Zoom リモート参加が可能です

※例会日 18時50分より入室可能

ミーティング ID 982 5802 0593

パスコード mimarc



SERVICE TO CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



美馬ロータリー
クラブ週報